

平成 2 7 年 第 1 5 回
仙北市教育委員会定例会会議録

平成 2 7 年 1 2 月 2 4 日

仙北市教育委員会

平成27年第15回仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 平成27年12月24日(木) 午後2時00分

2 場 所 角館庁舎西側庁舎2階 第3会議室

3 出席委員

委員長	安部 哲男
委員長職務代理者	河原田 修
委員	佐久間健一
委員	坂本 佐穂
教育長	熊谷 徹

4 出席した事務局職員

教育部長	畠山 靖
教育次長兼教育指導課長	田口 和典
教育次長兼スポーツ振興課長	田口 幸栄
教育次長兼文化財課長	小松 誠一
教育総務課長	齋藤 栄子
教育指導課参事兼北浦教育文化研究所長	浦山英一郎
教育指導課参事兼田沢湖学校給食センター所長	草薨 裕士
教育指導課参事兼西木学校給食センター所長	芳賀 京子
生涯学習課長	黒澤久美子
田沢湖公民館長	佐々木幸美
角館公民館長	鈴木 孝昭
西木公民館長	武藤真利子
生涯学習課参事兼市民会館長	新田 康久
生涯学習課参事兼田沢湖図書館長	松田 修子
生涯学習課参事兼学習資料館・イベント交流館長	水平裕見子
文化財課参事	藤原 眞栄
角館町平福記念美術館長	草薨 正勝

5 議事

(1) 議案審議

議案第36号	平成28年度仙北市一般会計予算の教育費について
議案第37号	仙北市立小中学校管理規則の一部を改正する規則制定について
議案第38号	仙北市育英奨学資金貸与条例施行規則の一部を改正する規則制定について
議案第39号	仙北市高等学校入学準備金貸付条例施行規則の一部を改正する規則制定について
議案第40号	仙北市教育委員会職員の任免について

(2) 報告事項

- 報告第47号 仙北市立小・中学校私費会計事務処理基準制定について
報告第48号 仙北市教育委員会職員旧姓使用取扱要綱制定について
報告第49号 仙北市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する要綱制定について
報告第50号 仙北市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱制定について

6 審議の経過及び結果 (安部委員長)

ただ今から平成27年第15回仙北市教育委員会12月定例会を開催いたします。

次第により会議を進めさせていただきます。書記には朝水参事、栗原主査を任命いたします。議事録署名は、佐久間委員、熊谷教育長にお願いいたします。前回会議録の承認については、会議終了後にお願いいたします。

本日は、委員全員が出席で委員会は成立いたします。

次に、委員長挨拶ですけれども、平成27年も余すところ数日になっております。今年は、市制10周年関連の記念行事がたくさんあり、皆さんに大変ご難儀をおかけしましたが、全てつつがなく終えることができましたことを、厚くお礼申し上げます。

今年度は、新たに総合教育会議が正式に発足し、これまでは、なかなか市長とお互いの考えを直接伺う機会がなかったけれども、そういう意味では大変に収穫のあった年でもあり、市当局との連携が密に行われるようになったと自負しております。

新しい年を迎えるにあたっては、それぞれの部署で、ここにお集まりの皆さんの適切な指示のもと、職務が円滑に遂行されるようお願いをして、あいさついたします。

この後、先日の12月議会において、教育委員に再任された坂本委員からごあいさつをいただきます。

(坂本委員)

ただいまご紹介いただきましたように、再任していただきまして、教育委員としてまた頑張らせていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

4年前に委員になったときに、私は地域のお母さん代表でここに来たのではないかなという意識を持って臨みました。4年後の今も、その気持ちは変わっておりません。今後も、子どもを優しく見守りつつ、時には厳しく叱咤し、激励し、モンスターペアレントにならない程度に、危険なときには子どもを守るというような気持ちで、地域の子どものために、少しでも貢献できればと思っております。また、教育委員会に4年間関わらせていただいて、教育委員会ではこんなこともしているんだ、これも教育委員会の仕事なんだ、というたくさんの発見がありました。不勉強を恥じたこともありましたけれども、これからは、皆様のお力をいただきながら、勉強しながら進みたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(安部委員長)

ありがとうございました。

続いて教育長の事務報告をお願いします。

(熊谷教育長)

私から2点申し上げます。はじめに12月教育委員会定例会事務報告でございます。

12月1日、市議会定例会が開会されました。2日に戸沢サミット in 仙北実行委員会、最終の締めの実行委員会でございます。同日、総合戦略策定委員会で、総合戦略に教育委員会関係のこと、特に教育、文化、スポーツのこと等をかなり盛り込むようお願いしております。9日、10日が市議会本会議の一般質問、11日が議案質疑と予算常任委員会、

14日から総務文教常任委員会でございました。内容につきましては、部長から報告があります。18日、日本語講座運営委員・指導者合同会議でありました。これは大曲でしたが、こちらへ来られている外国人の方々の日本語講座の運営の会議でございました。生涯学習課の皆さんと一緒に参加しております。22日が、ただいまごあいさついただきました坂本委員の辞令交付でございました。

今後であります、25日がチャレンジデー実行委員会であります。

1月6日が消防出初式、23日が児童生徒県南美術展の表彰式が平福記念美術館でございます。また、12月26日から1月13日までが、小中学校の冬期休業でございます。

もう1点でございます。

机上に、ふるさと仙北学改訂版をお上げしております。一見したところ、あまり変わらないように見えますが、増ページになったのが4ページございます。後でゆっくり見ていただければと思いますが、仙北市の偉人のところに、平岡均之氏、神代出身です。武藤鉄城氏、武藤鉄城氏は川辺出身で、仙北市出身ではないのですが、仙北市の歴史関係の基礎を築いた方でございます。それから、地域に貢献したリーダーとして、特に政治関係、町長さん、市長さん、県議会議員の皆さんまでのお名前、任期等を記載させていただいております。また、民謡と民俗芸能のページに、伝統民俗芸能の発信地としてのわらび座です。これにつきましては、県からもわらび座が仙北市でこれだけ活躍しているのだからという声もありまして、非常に大きな足跡を残しております、記載させていただきました。差し替えとしまして、千葉治平氏の内容をより充実しております。また、「毒水」という表記が問題があるのではないかという意見がありました。歴史的には「毒水」と表記した文献もありますが、「強酸性水」と表記させていただきました。新しいものには全て書かれておりますが、増えたページを印刷し冊子にして、子どもたちが持っている旧版にはさんでいただき学校で活用していただくということで校長会に伝えております。私からは以上でございます。

(安部委員長)

ただいまの教育長の事務報告に質問はありませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

それでは議案審議に入ります。議案第36号、平成28年度仙北市一般会計予算の教育費について、説明を求めます。

(齋藤教育総務課長)

議案第36号、平成28年度仙北市一般会計予算の教育費について、ご説明いたします。

お手もとに配布してございます、平成28年度当初予算要求、これはまだ要求段階での概要ですが、こちらをご覧いただきながらご説明を申し上げたいと思います。主に新規事業を中心に各課から説明して参ります。はじめに、教育総務課から説明いたします。

—資料により説明—

(田口次長兼教育指導課長)

教育指導課と北浦教育文化研究所の当初予算要求概要について説明いたします。

—資料により説明—

(草薙田沢湖学校給食センター所長)

田沢湖学校給食センターの予算について当初予算要求概要について説明いたします。

—資料により説明—

(芳賀西木学校給食センター所長)

角館学校給食センターの予算について当初予算要求概要について説明いたします。

－資料により説明－

西木学校給食センターの当初予算要求概要について説明いたします。

－資料により説明－

(黒澤生涯学習課長)

生涯学習課の当初予算要求概要について説明いたします。

－資料により説明－

(佐々木田沢湖公民館長)

田沢湖公民館の当初予算要求概要について説明いたします。

－資料により説明－

(鈴木角館公民館長)

角館公民館の当初予算要求概要について説明いたします。

－資料により説明－

(武藤西木公民館長)

西木公民館の当初予算要求概要について説明いたします。

－資料により説明－

(松田田沢湖図書館長)

田沢湖図書館の当初予算要求概要について説明いたします。

－資料により説明－

(水平学習資料館・イベント交流館長)

学習資料館・イベント交流館の当初予算要求概要について説明いたします。

－資料により説明－

(田口次長兼スポーツ振興課長)

スポーツ振興課の当初予算要求概要について説明いたします。

－資料により説明－

(小松次長兼文化財課長)

文化財課の当初予算要求概要について説明いたします。

－資料により説明－

(草薙角館町平福記念美術館長)

角館町平福記念美術館の当初予算要求概要について説明いたします。

－資料により説明－

(新田市民会館長)

市民会館の当初予算要求概要について説明いたします。

－資料により説明－

(安部委員長)

ひととおり説明が終わりました。非常に多いので、前半として、15ページの市民会館までについての質疑応答、意見を出していただきたいと思います。

(河原田職務代理者)

JFA夢先生招聘事業についてですが、だいたい誰が来るのかということは決まっているものですか。

(田口次長兼教育指導課長)

現時点では、まだ決まっておりませんが、リストはございます。その中から日程調整をして、JFAの方で派遣してくださるということでした。

(安部委員長)

この件について、私の意見ですけれども、中学校2年生が対象で、しかも私たちという

共生の意識が持てるようにということで、要求が通るかはわかりませんが、要求をしてもらったということは、大変ありがたいことだと思います。

(坂本委員)

1点の質問と、1点の意見をお願いさせていただきたいのですが、学校ホームページ作成、パソコン学習補助、ICT学習の推進の金額ですけれども、ホームページ作成と情報支援の先生の分として全て一緒にまとめた金額でしょうか。

(田口次長兼教育指導課長)

情報教育支援員を雇用しまして、派遣する事業でございます。その情報教育支援員の仕事の中身として、ホームページ作成、あるいはパソコンでの学習、新しく出て来ますICT学習についても、最新の情報を先生方に伝えるという仕事の中身として、このようなことを予定しているということでございます。

(坂本委員)

ホームページは、それぞれの学校が既に持っていると思うのですが、それを継続して、新しくするという事ではないのですか。

(田口次長兼教育指導課長)

各学校にありますホームページを、新しくといいますか、内容については常に更新をかけている訳でございますけれども、その更新が順調に計画的に進むようにということで、この仕事の中身となります。内容を全て新しく、ということではございませんけれども、支援員が入ることで、様々なデザインであるとか、表記の仕方であるとか、新しいものが入ってきておりますので、有効に活用していければと思っております。

(坂本委員)

もう1点、私が何年も言い続けていることで、仙北市音楽祭のようなものを検討してはいただけないでしょうか。大仙市が、マーチングで先日、大変素晴らしい成績を挙げました。その時に「角館はどうなっている」と聞かれたのですが、何とも答えられませんでした。状況が見えていないということが事実でございます。もっともっと地域の人に、音楽に取り組む子どもたちの姿を見せる機会、それから子どもたちだけでなく、合唱ですとかそのようなことに取り組む一般の方もいらっしゃいます。生涯学習にも関わってくると思います。ぜひ、音楽祭に関して今年でも来年でも検討いただければと思います。

(田口次長兼教育指導課長)

子どもたちにとっても、市民にとっても、音楽がもたらす大きな心の豊かさに繋がるような効果というのはあるかと私も思っております。子どもたちの活動に関しては、この後、各学校の状況、あるいは校長会で、校長に意見を聞くなどして、前向きに検討していきたいと思っております。

(佐久間委員)

最初に、奨学金の補助について、これは大変素晴らしいと思いますが、仙北市のみ独自の計画でしょうか、あるいは全県的な取り組みでしょうか。

二つ目、ストレスチェックに取りかかるということですが、現在、仙北市でストレスで精神的にまいっていて休んでる先生はいらっしゃるかどうか、あるいは、その可能性がある教師がいるかどうかもお聞きしたいと思います。

三つ目、学校適正配置に関するアンケートの予算をいよいよ要求しましたが、検討委員はどのような方々を計画しているか、それから、5月中旬から始めて7月に結果を出すということで、対象は1家庭にするか、あるいは一人ひとりにするのかとか、対象をどう考えているのかということと、全体にアンケートをとった場合、現在の学校に対する意見もつけてもらうかを考えているかどうか。

最後に、NHKだったと思いますが、学校のトイレが良くて、子どもたちが行きたくなく、我慢して家に戻ってくるということが全国的に非常に多いということです。仙北市内で、トイレの改修をする必要がある箇所があるか無いか、どうでしょうか。以上の質問ですが、簡単で良いのでお願いします。

(田口次長兼教育指導課長)

1点目の奨学資金システム運用事業ですけれども、基本的には仙北市独自の条件付けを考えております。この後、条例等を改正する際に詰め作業を行いますけれども、基本的に高校後の何らかの学校を卒業した後で、仙北市に在住している方、そしてその方が、一つの考え方としては、仙北市で働いている方、もう一つの考え方としては、秋田県内で働いている方、前者の場合は、検討してみましたところ、毎年20人の枠を想定しておりますが、4から5人しか対象にならないということがございますので、県内で働いている方ということになれば、若干増えるということで、その条件に合致している期間の返済部分を補助するという形で考えてございます。実は県でも、若干形が違う制度を始める準備をしていると聞いてございますが、県の場合は、職種に限定があったり、あるいは、この職種の方は除くというような、例えば公務員は除く、などということの規定しているようですけれども、仙北市の場合は、そういう例外規定をつくらないでいきたいと考えてございます。

2点目のストレスチェックに関わる状況についてですけれども、現在、ストレス、もしくは精神的な要因で休職している職員はございません。さらにその心配がある職員はいるかということですが、私が承知している範囲では、特に心配を要する職員は承知してございません。ただし、ストレス、精神的なものというものは、深く心の奥に潜んでいることがございますので、各学校の校長を通じてきめ細かく観察して対応していきたいと考えているところでございます。

次に、学校適正配置研究検討事業費について、対象、アンケートの内容ということでございましたけれども、今回計上した予算の根拠は、全世帯を対象にということで世帯数から算出してございます。ただし、統計上、意味のある結果を出すためには、全世帯の必要はないという統計学の常識があるようでございますので、90パーセント以上の正確性が伴うのであれば、抽出で、ということもこの後の詰め作業の中で検討していき、実施前に改めて、委員会で委員の皆様にご審議をお願いすることになるかと思っております。内容につきましても、前回の総合教育会議でご指摘いただいた点については、修正を加える作業を進めているところでございます。これももちろん、実施の前にここでお諮りしたいと考えております。検討委員の人選については、各地域ごとにバランスをとって、上桧木内、桧木内、西明寺、中川、白岩、角館、神代、田沢湖、田沢で職種としては保護者の方々を中心に、教育関係者、かつて教育行政に携わった方とか、集計に関わって見識のある方であるとか、そういう方を想定してございます。

最後にトイレの件でございますけれども、数年前、各学校のトイレについて、洋式と和式の両方が備わっているかという調査がありまして、備わっていない学校については、合併してすぐの頃かと記憶しておりますけれども、洋式トイレが配置されてございます。ということで、今、学校から、あるいは保護者の方から、トイレの不備が原因で排泄、排便ができないというような、トイレを変えてくださいという要望は届いてございません。

(坂本委員)

その件に関して、桧木内中学校のトイレ修繕の予算がありますが、これの理由、内容というのはどのようなものですか。

(齋藤教育総務課長)

桧木内中学校のトイレ修繕というのは、30万円以内でできる簡易的なもので、水の出の具合が悪いとかの修繕で、特別、排泄、排便に影響があるようなことではないということで、簡易的な修繕と考えていただければと思います。

(安部委員長)

私から、公民館の予算について質問します。

仙北市文化祭という項目で補助金を要求しているのが、西木公民館と田沢湖公民館で、角館公民館はその部分がどこに入るのか。

(鈴木角館公民館長)

角館公民館活動推進費の中に含まれております。12万円の補助金を計上しております。

(安部委員長)

もう一つ、意見になりますが、今年は市制10周年記念で文化祭が仙北市全体で統一して行われたのですが、それを実施するにはずいぶんご苦労もあったんですが、私自身は、地域性もあるけれども、一つにまとめてやった方がよりたくさんの人に見てもらえる良い機会だと考えたけれども、再び各公民館が独自にやるようになったその根拠、理由はあるのでしょうか。それを教えてもらいたいです。

(黒澤生涯学習課長)

昨年までは、地区ごとにやっておりました、今年は10周年記念ということで一堂に会してやりました。それぞれの地区の実行委員が3地区ございまして、その方々からはご理解とご協力をいただき開催した訳ですけれども、まだ実行委員会の決算等は開いておりませんが、実際に開催してみて、どうしても3地区をまとめてやるとなれば、角館、西木にはあのボリュームの会場がないことから、今後も続けていくとなれば、会場が固定化し、田沢湖が会場になるかと思えます。今回一緒にやったことで、角館地区等から、遠くて出展できないという方々もいらした訳です。そのようなことから、全体としてやる文化祭については、毎年となれば難しいのではないかとということで、3年に一度とか、5年に一度とかは、皆さんが集まって開催することは可能かと思う訳です。毎年行うとなれば、3地区持ち回りの場所があればそれも可能かと思うのですが、どうしても物理的なものが発生するということから、今回は10周年記念ということで一堂に会してやってみたのですが、来年度からは、またそれぞれの地区に密着したものをやって、これから5年経ったら、また皆さん一堂に会してやるという形にした方が良いのではないかとということで、来年度につきましては、各地区ごとにとということでの予算要求をしていただいたということでございます。

今年のボリュームを見れば、これまで角館では角館交流センターでやられていた訳ですけれども、その中に、今年出た出展数全部がまとめて入るかということ、どうしても無理かなと、今年やってみて感じました。西木についても場所がないということだったものですから、来年度からは、また各地区の実行委員会の方々から企画をしていただいて、各地区公民館ごとにやるということで予算的にお願いした訳です。

ただし、今年の文化祭の実行委員会の最終の実行委員会を開いておりませんので、各委員さんたちの今年の総括的な意見等については、まだ聞いてはおりません。その中で、どのような話が出てくるかはわからない訳ですけれども、今年の文化祭を顧みて、実行委員の方々は各地区から出ておりますので、その方々が今回のような形でやって良かった、来年度以降も、ということになれば、その時点で、どのようにやるかということの話が出ると思いますけれども、事務局職員がやってみた中では、また戻して、という形で予算要求したところでございます。

(安部委員長)

もう一つ意見を加えれば、今ここに至っては、無理な話なんだけれども、実行委員会というものが、予算要求する前に行われるべきであったと思います。それを責めてもしようがないことなのだけれども、今度実行委員会を開いたときに、万が一、統一してやった方が良くって、そうすればそのようにやりましょうという訳には、予算要求したものですから難しいことだと思いますので。

(黒澤生涯学習課長)

年明けには、実行委員会、事業報告と予算決算の報告はしなければいけないと思っておりますし、その中で、皆様からお話をいただかなければいけないと思っております。

(安部委員長)

3館合同でやるのと、それぞれがやるのとでは、それぞれのメリット、デメリットがある訳で、どちらが良いとは言いきれない部分があるのだけれど、メリットとすれば、市制10周年という意味では、市民がお互いに地域に偏らないで交流し合えるという、非常に大きいメリットがあったと思うんです。お互いの地域が、こういうことをやっているんだと、それぞれ3館がやっているときに見に行けば良いことなのですが、そうでなくて、一つになってやった方が良くってという私の意見ではあるんですが、事務局の意見だけでなく、実行委員会の意見を良く聞いて、そして変えることができるのであれば変えるし、皆さんがそれぞれでやった方が良くってなればそれで良いわけですから、いずれ、その辺りの意見を確認してほしいということです。

(黒澤生涯学習課長)

それにつきましては、良く皆様からお話を伺いたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

(安部委員長)

市民会館について、ミュージカルの上演は自主事業としてやるのですか。

(新田市民会館長)

やりたいと思ひまして予算要求しているところです。

(安部委員長)

何をやるのですか。どこかの劇団を呼ぶのですか。

(新田市民会館長)

劇団スイセイ・ミュージカルのクリスマスキャロルとって、今年ドンパルでもやったものと同じ劇団のもので、有名なタレントさんが出演するミュージカルです。

(坂本委員)

川島なお美さんがやっていたものですね。

(新田市民会館長)

はい、そうです。川島さんが亡くなられて、急きょ代役となったものです。今年の6月か7月頃にこちらを回るとのことです。もし、予算が付けば、早急に取りかかりたいと思っております。

(安部委員長)

田沢湖図書館について、私からの意見ですが、先日、図書館にお伺いしたときに、館長さんからお話を伺って、田沢湖図書館では、蔵書を風化しない状態で保存することができない、冷房施設もないというお話を伺って、それは困ったことだと思ひ、それを実現するためにはどれくらいお金がかかるかと聞いたら、途方もない予算がかかるということでありました。本もあるし、美術品があることが異例ではありますが、これも保存しなければいけない。保存するための、きちんとした施設はなければいけない。今すぐ予算が付くとはいえないと思ひますが、それを見通した調査費ということで、少しでも予算をつけてい

けば今後出来るのではと思ったところです。

(畠山部長)

図書館も、ほかの施設もそうなのですが、蔵書であったり、収蔵品であったりの保管場所がないというか、非常に狭くなってきているというのが現状です。当然、蔵書などは廃棄するよりも購入する方が多いので、増えていくと思うのですけれども、さらに田沢湖図書館に関していえば、2階をあげるとか、エレベーターをつけるとか、そのようなことを総合計画、来年度から10年間の計画でありますけれども、その中には盛り込んでおります。その中で、28年度に急にという訳ではないのですけれども、大規模改修となると思いますが、そういう計画は盛り込んであります。

(河原田職務代理者)

去年のモーグル大会の時に、上村愛子さんの講演会がありました。今年もあのような事業はあるのですか。

(田口次長兼スポーツ振興課長)

今年も上村愛子さんは来ていただくことになっておりまして、上村愛子さんからどのようなことを協力してもらおうのか、また、上村愛子さんの方からどういう話があるかは、これから詰めていきたいと思っております。去年は、企業のPRとかもありまして、いろいろやっていただきまして、今年も来ていただきますので、いろいろ考えていきたいと思っております。

今年、上村愛子さんが実況放送をするということで、競技中、解説をしながらやっていただくことになっております。その解説は、FMラジオにイヤホンをつけて、500円くらいで買うこととなりますが、FM電波を飛ばしてお客さんが会場で解説を聞きながら競技を見るという感じです。

(安部委員長)

これも私からの質問、意見ですが、去年と一昨年2回にわたって、歴史の研修というような形でやっていただいて、是非とも文化財課としての継続事業としてもらいたいというお願いをしていたのですが、それはこの予算のどこでやるのか、また、予算が盛られているのか、いないのかということを確認したいと思っております。

(小松次長兼文化財課長)

研修を2年やらせていただいて、講師は前文化財保護室長の大野先生をお願いしたということで、一般総務の部分での講師謝礼という形で、その部分の費用として計上しておりますので、また引き続き来年も行う予定をしております。

(安部委員長)

私の希望では、ここに歴史研修事業という項目をきちんと書いて、継続事業としてやるという意思を明確にさせていただきたいということです。人事で人が変わっても、文化財課の継続事業として誰が来ても続けるというように明確に書いてもらえればありがたいと思います。

(小松次長兼文化財課長)

貴重なご意見、ありがとうございます。そのようにさせていただきます。

(安部委員長)

佐藤待子さんは角館町の出身でしたか。何を展示するのですか。デザインとかですか。

(草薙平福記念美術館長)

角館町在住の方です。イラストというか、大変すばらしいイラストみたいな絵です。是非、来館してご覧ください。

(坂本委員)

スポーツ振興課のクリオンのプール改修という、大変いい費用だと思うんですけども、通年利用というのは今のところ見込めるということでしょうか。

(田口次長兼スポーツ振興課長)

通年利用を目指した改修をしたいと思っております。例えば、プールの暖房設備の改修、室内も変えたいと思っております。

(坂本委員)

通年利用がこれから予想できる、利用者がいるという予想できるということですね。

(田口次長兼スポーツ振興課長)

通年利用の希望がありますので、それに応えたいということで考えております。

(安部委員長)

ほかに質問、意見はありませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

それでは、いくつかの付帯意見をつけて承認するというところでよろしいですか。

—異議なし—

(安部委員長)

それでは、議案第36号については、承認することとします。

次は、議案第37号、仙北市立小中学校管理規則の一部を改正する規則制定について、説明を求めます。

(田口次長兼教育指導課長)

議案第37号、仙北市立小中学校管理規則の一部を改正する規則制定についてご説明申し上げます。

—資料により説明—

(安部委員長)

ただいま説明がありましたが、質問はありませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

それでは、議案第37号については、承認することとします。

次は、議案第38号、仙北市育英奨学資金貸与条例施行規則の一部を改正する規則制定について、説明を求めます。

(畠山部長)

関連がありますので、議案第39号も一緒に説明させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(安部委員長)

そのようにお願いします。

(畠山部長)

それでは、議案第38号、仙北市育英奨学資金貸与条例施行規則の一部を改正する規則制定についてと、議案第39号、仙北市高等学校入学準備金貸与条例施行規則の一部を改正する規則制定についてご説明申し上げます。

これは、国の個人番号制度、いわゆるマイナンバーの利用が、平成28年1月1日から始まりすけれども、それに伴っての改正でございまして、個人番号を利用する個人情報の提供に関する条例が、つい2日前の12月22日の仙北市議会最終日で議決されております。それに伴う規則の改正でございまして、

—資料により説明—

(安部委員長)

ただいま説明がありました。質問はありませんか。

(河原田職務代理者)

個人番号を書くことはいいとして、これをそのように利用するというを相手に表示しなくてもいいのですか。連帯保証人とかがありますけれども、私は個人番号を出したくないとなった場合もあるかと思いますが、そのような場合はまた違った様式になるのか、書類をまた整えなくてはならなくなるのですか。

(畠山部長)

個人番号を出すことをためらう人に関しては、今までと同じように所得証明や住民票などの書類を提出していただくことになります。いずれ、システムが整えば、パソコンの画面で確認できるため、個人番号があればそのような書類はいりませんということになっていきます。

(河原田職務代理者)

提出する方に、あなたの個人番号を利用しますということを了承してもらうという様式なのですね。

(畠山部長)

そうです。もし、個人番号を出すことにためらう人には、これまでと同様の書類を提出していただくことになります。ただし、様式が1月1日から変わりますけれども、現在、まだシステム化になっていませんので、今までどおりでいくしかないかと思っております。

(安部委員長)

ほかに質問はありませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

それでは、議案38号、39号は、承認することとします。

次は議案第40号ですが、これは7番のその他が終わった後に、休憩を挟んで関係の皆さんに残っていただき審議します。

次に、報告事項に入ります。報告第47号、仙北市立小・中学校私費会計事務処理基準制定について、説明を求めます。

(田口次長兼教育指導課長)

報告第47号、仙北市立小・中学校私費会計事務処理基準制定について、説明させていただきます。私費会計とは、公費以外はすべて私費会計ですが、学校で徴収している修学旅行費であるとか、部活動費であるとか、PTA会費であるとか、そのようなものの取り扱いを定めたものでございます。

これに関連いたしまして、地教委が学校の会計を監督するという原則が改めて示されました。それに基づいて基準を制定したところでございます。

—資料により説明—

(安部委員長)

ただいま説明がありました。質問はありませんか。

(佐久間委員)

今までは、このような規程は一切なかったのですか。

(田口次長兼教育指導課長)

ございませんでした。

(佐久間委員)

県ではどうなんですか。

(田口次長兼教育指導課長)

県立学校については、県で同じような取り扱い基準がありまして、それも参考にさせていただきました。

(安部委員長)

ほかに質問はありませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

それでは、報告第47号は承認することとします。

次は、報告第48号、仙北市教育委員会職員旧姓使用取扱要綱制定について、説明を求めます。

(齋藤教育総務課長)

報告第48号、仙北市教育委員会職員旧姓使用取扱要綱制定についてご説明いたします。

これは、教育委員会職員が婚姻、養子縁組、その他の事由により戸籍上の氏を改めた場合は、今までは、改正後の氏を使用するように取り扱ってきましてけれども、今までも、旧姓使用に対する要望が提出されてきたことや、今後も同様な要望が増加するものと見込まれることから、この要綱を制定したものであります。

—資料により説明—

(安部委員長)

ただいま説明がありましたが、質問はありませんか。

報告第48号を承認することよろしいですか。

—異議なし—

(安部委員長)

それでは、報告第48号を承認することとします。

次は、報告第49号、仙北市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する要綱制定について、説明を求めます。

(畠山部長)

関連がありますので、報告第50号も一緒に説明させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(安部委員長)

そのようにお願いします。

(畠山部長)

それでは、報告第49号、仙北市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する要綱制定についてと、報告第50号、仙北市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱制定についてご説明いたします。こちらも、先ほどのマイナンバーによるものと同じで、様式の中に個人番号を入れるものであります。

—資料により説明—

(安部委員長)

これは承認することよろしいですか。

—異議なし—

(安部委員長)

それでは、報告第49号、第50号は承認することとします。

次は、その他に入ります。

はじめに、いじめ、不登校対策についてお願いします。

(浦山北浦教育文化研究所長)

11月のいじめ、不登校の状況について、ご報告いたします。

はじめに、いじめについて、11月は2件の報告がありました。

今後も、一人ひとりを大切にしたい温かい学校・学級づくりに努めるとともに、学校や家庭、関係機関と連携しながら、粘り強く対応して参ります。

11月の報告は以上です。

(安部委員長)

いじめ、不登校対策について報告がありました。何か質問はありませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

それでは、今後も継続的に、粘り強く、子どもたちを見守り、指導していただけるようお願いいたします。

次に、教育委員会定例会会議録のホームページ公開について、お願いします。

(齋藤教育総務課長)

今回は、平成27年10月29日に行われました、平成27年第12回仙北市教育委員会定例会会議録でございます。ページに沿って説明いたします。

—資料により説明—

誤字や脱字等、お気付きの点がありましたら、1月6日(水)まで、齋藤までご連絡をお願いしたいと思います。以上です。

(安部委員長)

ほかにありませんか。

(畠山部長)

議会関係の一般質問、議案質疑等の教育委員会関係についてご説明したいと思います。

—資料(答弁要旨)により説明—

(安部委員長)

ほかにありませんか。

(齋藤教育総務課長)

1月の定例教育委員会は、1月28日(木)を予定しております。

また、少し早い話ですが、2月の定例会は、市議会の関係で2月10日頃をめどに開催したいと思いますので、これも合わせて、ご協力のほどよろしく願いいたします。

(安部委員長)

ほかにありませんか。

それでは休憩いたします。関係する職員の方のみ残っていただき、審議、報告を終わらせていただきます。ご苦労様でした。

16:38 休憩

16:40 再開

(安部委員長)

それでは、再開します。議案第40号、仙北市教育委員会職員の任免について、説明を求めます。

(齋藤教育総務課長)

議案第40号、仙北市教育委員会職員の任免について、ご説明いたします。

—資料により説明—

議案第40号は承認することよろしいですか。

—異議なし—

(安部委員長)

それでは、議案第40号は承認することとします。

大変長い時間にわたり、ご苦勞様でした。以上で、本日の平成27年第15回仙北市教育委員会12月定例会を閉会いたします。

7 閉会宣言 平成27年12月24日 午後4時45分